

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
オリジナル作品制作3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	田熊知存			実務経験	有	職種	作編曲家				
担当教員紹介											
幼少の頃からエレクトーン・Jazzピアノを習い、コンクールで優秀な成績を収める。様々なアーティストのサポート演奏や楽曲提供を手がけており、幼い頃に影響を受けたDisney音楽のような歌心がありファンタジックな曲の制作を得意とする。											
授業概要											
聴音のレッスンと既存楽曲のコード進行の解説を行う。 アナライズ能力を高めることにより自身の楽曲のクオリティの向上を狙う。											
到達目標											
既存楽曲のコード進行を解析してディグリーでコード進行を捉えることができるようにする。 理論と結び付けて考えることでコードに対する理解を深める。 また、習った知識を自分の楽曲に活かせるように別授業で実践に落とし込む。											
授業方法											
聴音から授業をスタートして、聴いた音を音程として言語化できるようにする。 聴音終了後、既存曲のコードの解説を行う。（コードネーム、ディグリー、機能などについて） 実習として学生自身でまずは耳コビを行うこととする。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
授業の性質上、板書が多くなるためノートを取ることを徹底する。また、得た知識を自作曲に落とし込むことを意識的に行うようにする。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	クリシェについて1										
第2回	クリシェについて2										
第3回	パッシングコードについて1										
第4回	パッシングコードについて2										
第5回	セカンダリードミナントについて1										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
オリジナル作品制作 3	
第6回	セカンダリードミナントについて 2
第7回	モーダルインターチェンジについて 1
第8回	モーダルインターチェンジについて 2
第9回	サブコードについて 1
第10回	サブコードについて 2
第11回	サブコードについて 3
第12回	サブコードについて 4
第13回	裏コードと五度圏について
第14回	これまでに学んだ知識で指定された楽曲の聴音を行う 1
第15回	これまでに学んだ知識で指定された楽曲の聴音を行う 2